

# 空き家相談室をご利用ください！

## 空き家のこと、一緒に考えてみませんか？

今年度から新たに「空き家相談室」というグループを作り、各種相談の窓口、空き家の現地調査などを始めています。ご自身所有の空き家だけでなく、近所の危険な空き家の不安、古い家を解体した宅地の売却、信里に家を建てたい知り合いがいる等、信里での家に関するご相談なら何でも構いません。必要に応じて長野市空き家バンク登録への支援などのお手伝いをします。**どんなことでも、気軽に声を掛けてください**



メンバーは下記の5名です。

- 中島 法子 (有旅一)
- 中島 愛子 (上有旅)
- 北澤 良子 (笹鍋)
- 新井 千寿 (遊谷)
- 橋本 太郎 (若林)

026-274-5206 (事務局)

## 信里の写真を募集！

信里田舎暮らしを推進する会では今後、移住希望者などへの外部発信用のパンフレット作成やWEBサイトの拡充を行っていく予定です。そこで、魅力ある信里の景観や風景の写真を募集しています。掲載しても良い写真がある方は撮影者のお名前、連絡先、名前の掲載可否を添えてお送りください。

**Eメール nobusatonet@gmail.com ※件名「田舎暮らし写真投稿」**

**持込み・郵送 篠ノ井有旅1192-1 信里合同庁舎2階 信里地域委員会事務局**

※持込み、郵送で返却希望の場合はその旨記載してください。

## サポートメンバー募集！

移住を検討している人への空き家や地域の案内の際に景観を良くしたり、危険箇所が無いように確認、整備（草刈りなど）をする作業にご協力いただける方を募集しています。

信里地域委員会事務局 (信里合同庁舎2階)

または

**WEBサイト (https://nobusato.net/)**

から登録してください。



### 助っ人求む！



# 信里だより

空き家対策特集号

令和4年度  
第2号

<発行者>  
信里地域委員会

令和4年11月1日発行

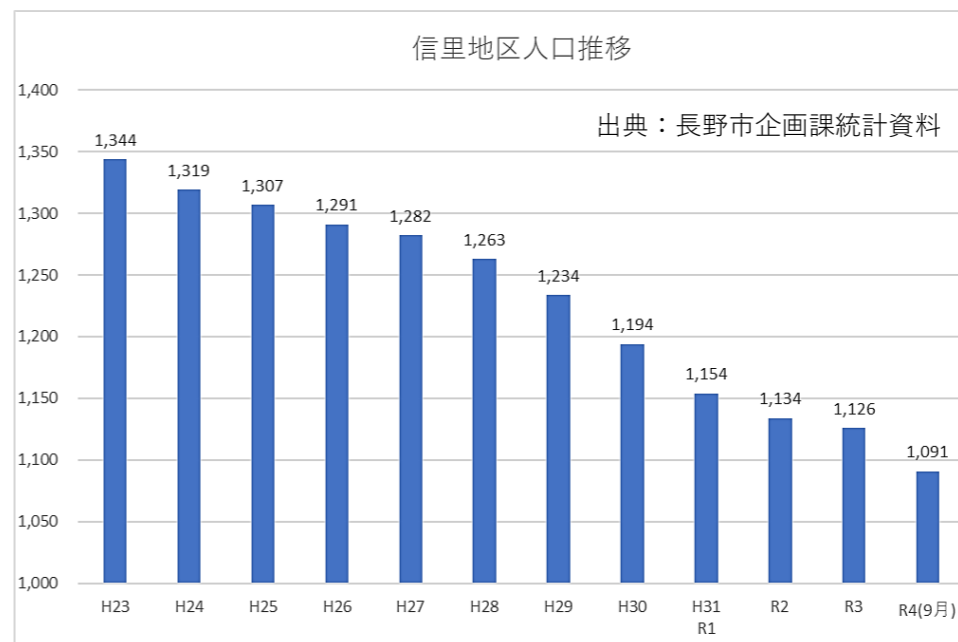
[信里田舎暮らしを推進する会]

信里地区で空き家・移住対策を推進する背景には、主に人口減少に伴う様々な問題があります。役員のなり手がなくなり、地域委員会では現在一部の地区が複数の部会員を選出できていない状況となっています。各区においても草刈り、道普請などの共同の集落活動の担い手が減ることや施設維持等のためにかかる区費の1軒あたりの負担が増えることなど問題が増えています。



(このように荒れてしまう前に)

単位：人



地区名	H23	R4(9月)	増減率
有旅第一	146	132	-10%
有旅第二	95	73	-23%
上有旅	96	77	-20%
犬石	107	78	-27%
十二	89	71	-20%
笹鍋	88	73	-17%
青池	113	86	-24%
山布施	100	62	-38%
粒良田	51	51	0%
遊谷	99	72	-27%
夜交・大久保	25	17	-32%
若林	54	42	-22%
瀬成	28	29	4%
秋古	65	55	-15%
村山	188	173	-8%
信里全体	1,344	1,091	-19%

信里地区の人口はご覧のようにほとんどの地区で減少しており、減少が緩やかな地区でも高齢化率が進んでいます。子どもの数が減り、子どもの声が聞こえないのは寂しいだけでなく、子どもがいない＝多くが現役世代であるその親もいないという状況になります。ですが、信里は自然環境が良く市街地に近いという立地のため、移住・新築などの希望者がいますので、提供できる空き家や宅地があれば人が増えるチャンスがあります。小学校や保育園を無くさないためにも、早急に手を打つ必要があります。



(放置すると・・・)

一人一人が今できることは、空き家・宅地の所有者であれば賃貸・譲渡・売却等を検討すること。例えば、古い母屋や蔵を取り壊して空き地となった宅地を分筆して売却することも場合によっては可能です。親族の空き家があれば話し合ってみる。放置すると家は湿気などで年々劣化をしていきます。早い段階で売却すれば、状態によっては数百万円での売買実績もありますし、手放すことで管理の負担も減少します。売却以外にも地域おこし協力隊等に賃貸に出せば月数万円の収入になります。また、今住んでいる家のことも将来に向けて家をどうしていくか家族・親族と話し合っておくことが放置される空き家の発生を防ぐことに繋がります。面倒だからと放置してしまうと後により大きなトラブルが生じてしまいます。国では2024年からは相続登記が義務化され、罰則規定も設けられます。何かから手を付ければ、という相談も空き家相談室などにお気軽にご相談ください。

信里の人口を増やすために、移住者を増やすことや、空き家を利活用することを目標に活動している信里田舎暮らしを推進する会です。今回は、移住して下さった方のお話を紹介します。



英恵さんと子どもたち

## 他の地域から信里を選んで移住して下さった方はどんな経緯で来てくれたのでしょうか？

お話を聞かせて下さったのは、有旅第一地区の近藤英恵（はなえ）さん。英語講師として現在は自宅で英語教室を開講されています。ご主人がもともと長野市篠ノ井の方で、ご結婚を機に移住されました。2017年に家を新築するにあたって市内で土地を探していた時、希望の土地が自力では見つけれなかったと話してくださいました。

### ---家を購入する時、何を求めていましたか？

条件は一つ！

- ・子どもが十分走り回れて、周りに迷惑がかからない土地の広さ（できれば畑をやりたい）

### ---信里にたどりついたきっかけは？

知人経由で紹介してもらった日本建設工業（株）の社長、太田さんが信里（有旅）の出身だったのがきっかけです。有難いことに、土地探しから、土地の造成、家の建築まで一貫して請け負っていただきました。情報が表に出ていない土地だったので、自力で信里に行き着くことはなかったと思います。太田社長に出会えたことは本当に運が良かったので、ご縁に感謝しています。



家庭菜園で収穫

## 信里には、人のつながりと紹介、地元のルートで出会えた！

## || ご縁ルート

### ---信里に住んでみてどうですか？

総合評価は満点に近いです！車で下に下りるまで5分、病院にも近いし、買い物にも困らないですし、やりたかった畑ができて、子どもがのびのびと走り回れます。窓を全部開けっ放しにできる開放感も、家に来た人に羨ましがられます。地域の役員が回ってきた時には、配り物で子どもと散歩がてら回ると声をかけていただいたり、ご近所さんの顔を覚えることができたので良かったです。都会生活では横のつながりのない暮らしだったけれど、ここではご近所さんに豊作の野菜をあげたりするのが楽しいです。

**信里ライフを楽しんでいる様子が伝わってきて嬉しくなりました。最後に、空き家の利活用を促進するには？とアドバイスをもらうと、ご縁ルートが一番の近道だと思う！と答えてくれました。**

信里の人口を増やすには、地域の皆さんの情報やつながりが必要です。どうかご縁のお力を貸して下さい。よろしくお願いたします。

空き家相談室 新井 千寿 (記)



自宅のお庭でそり遊び

信里地区の空き家対策にとって小学校は大きな存在となっています。

ご自身も信里地区に縁のある、信里小学校の大田校長先生にお話を伺いました。

## 信里小学校の現状

信里小学校校長 大田裕一

信里小学校は、今年度、開校148年目を迎えます。児童数は、1年生2名、2年生4名、3年生7名、4年生6名、5年生6名、6年生8名で合計33名です。国の法律で2つの学年を合わせた人数が9名以上にならないと2つの学年がいっしょに学習をする複式学級となります。信里小学校の1、2年生はこの複式学級となっています。つまり、1、2年生6名を1人の先生が教えているのです。違う学年の子がいっしょの教室で学習することに違和感がある方もいらっしゃると思います。ただ、私たち教職員は3年ほど前から複式授業の研究をしてきました。「学習リーダー」と言って子どもたちの中に進行役の子を作り、その子が中心になり学習を進めたり、一人一台のタブレットを用いて個人で追究する場面を設けたりして、次第に子どもたち自ら学習に取り組む力がついてきていると感じています。特に上の学年(2年生)は、1年生に教える姿がたくさん見られます。この2年生の姿はきっと1年生に伝わり、来年になったら新しい1年生に教えていくことと思います。

信里小学校は、少人数の良さを生かして、いろいろなことに取り組んでいます。全校がお互いの名前を知っていることも他の学校にはないことだと思います。今年の5月に茶臼山動物園に全校遠足に行きました。縦割り班と言って1つの班にいろいろな学年の子が所属し、高学年の班長を中心に班別の行動をしました。子どもたちは笑顔にあふれ、とてもよい活動になりました。清掃活動も縦割り班で行っています。

また、体育や音楽、図工などは連学年(1・2年、3・4年、5・6年)で授業をしています。体育や音楽は大勢の子がいた方が楽しいですし、技能も高まるのではと考えています。更に、高学年では教科担任制と言って、中学のようにいわゆる教科の専門の先生が教えています。学習の深まりはもちろんですが、学級担任の先生だけでなく、全校で全児童を支援・指導することで、子どもたちの児童理解も深まると考えています。児童数の減少は今後も続きます。まさに信里小にとっては危機ですが、少人数の良さということもあります。まさにピンチをチャンスに変えた学校運営をしていこうと思っています。

今回、空き家の対策ということで原稿の依頼がありましたが、私自身も空き家の持ち主です。ご近所の方にはご迷惑ばかりおかけし、大変心苦しく申し訳なく思っています。実は、私は子どもの頃信里に住んでいなかったのです。そうはいつても曾祖母、曾祖父、祖母や父、父の兄弟が育った大切な家です。私自身は、ゆくゆくは更地にしようと思っていますが、いかんせん私一人では何ともなりません。今後もこの信里の地で育った親戚の方と相談しながら家のことを考えていきたいと思っています。



「全校遠足 茶臼山動物園」